

News Release

報道関係各位

2013年8月27日
株式会社カンター・ジャパン

日本人は「健康」に対する自己評価が低い。 22カ国調査で、「健康をコントロールできている」と 評価する人の割合が最も低かった

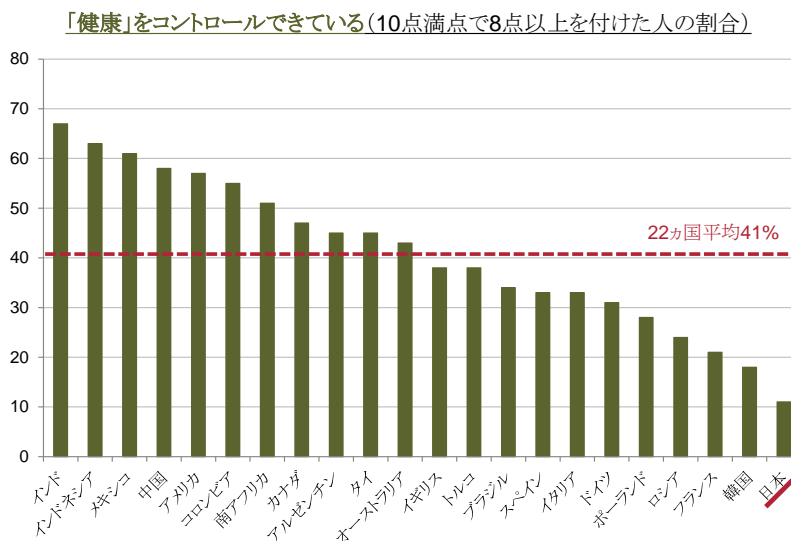
市場調査会社の株式会社カンター・ジャパン(本社:東京都渋谷区、取締役社長:大竹秀彦)は、日本を含む22カ国の市場トレンドと将来予測情報(名称:「グローバル・モニター」調査)を企業に提供しています。

22カ国の16歳以上の男女約22,000名に「健康をコントロールできているかどうか」について10点満点(10点が最も高い)で評価してもらいました。すると、8点以上(コントロールできている)を付けた人の割合で日本が11%と最も低い結果になりました。

この調査は、2013年2月から4月にかけて、主にインターネット調査(国によっては対面調査)で行いました。

■ 健康をコントロールできていないという自己評価

各国の人々に「健康をコントロールできているかどうか」について10点満点で評価してもらいました。すると、8点以上(コントロールできている)を付けた人の割合で日本(11%)が最も低いという結果になりました。

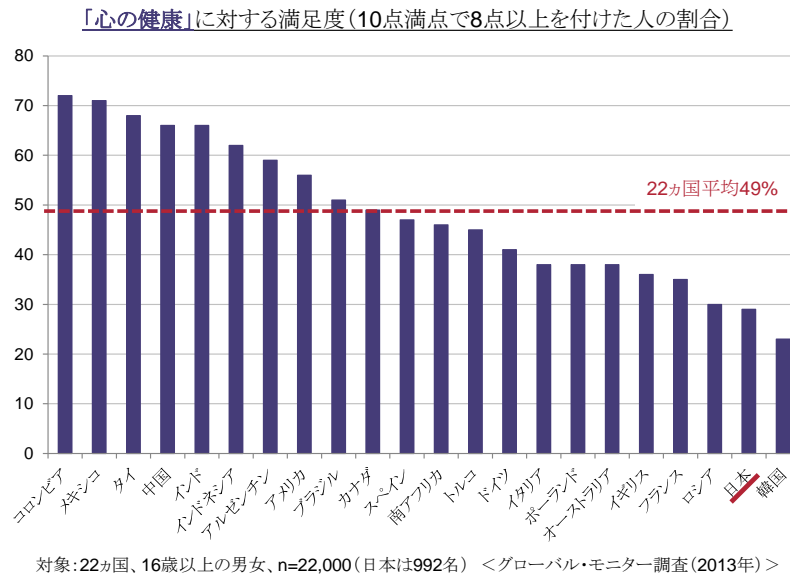


対象:22カ国、16歳以上の男女、n=22,000(日本は992名) <グローバル・モニター調査(2013年)>

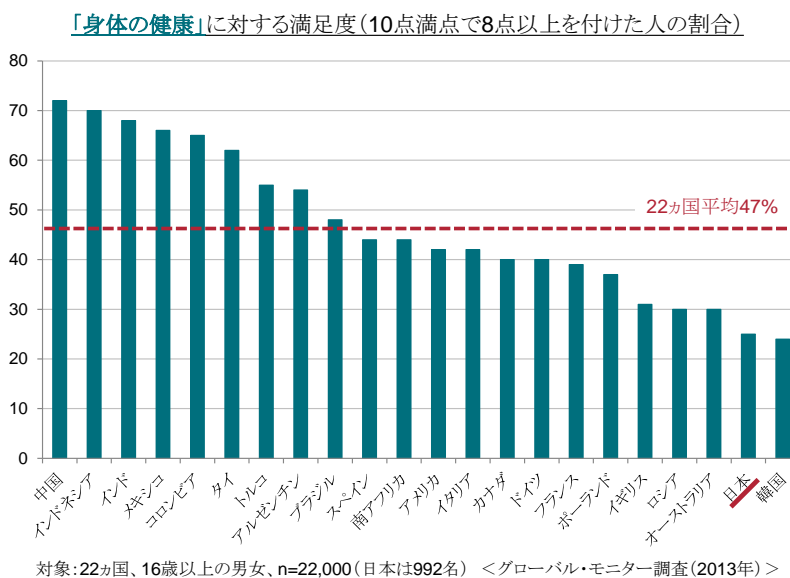
News Release

■ 健康に対する自己評価が低い日本人

また、各国の人々に「心の健康(感情・気持ちの安定度)」に対する満足度を10点満点で評価してもらいました。すると、8点以上(満足度が高い)を付けた人の割合で、日本(29%)は韓国(23%)に次いで2番目に低い数値となりました。



さらに、「身体の健康」に対する満足度についても評価を聞いたところ、8点以上を付けた人の割合で、日本(25%)は韓国(24%)に次いで2番目に低い結果になりました。



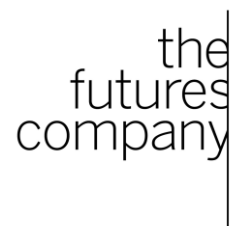
News Release

■ まとめ

この調査結果を見ると、世界の人々に比べて、日本人の「健康」に対する自己評価は高くないことがわかります。一方、中国やインド・インドネシアなど新興国の人々は、「健康」に対する自己評価が比較的高い傾向にあるようです。

■ 調査概要

カンター・ジャパンは、22カ国の市場トレンドの把握と将来予測を行い、その情報・分析レポートを企業に提供しています。調査を実施しているのは、同じカンター・グループに属するザ・フューチャーズ・カンパニー社です。



- 調査名称:「グローバル・モニター」
- 調査頻度:年 1 回
- 調査時期:2013 年 2 月から 4 月
- 調査方法:主にインターネット調査(日本含む)。国により対面調査
- 調査対象:16 歳以上の男女
- 対象者数:22 カ国で n=22,000(調整を実施)。日本は 992 名
- 調査国:日本、韓国、中国、インド、インドネシア、タイ、オーストラリア、ロシア、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、ポーランド、トルコ、南アフリカ、アメリカ、カナダ、メキシコ、コロンビア、ブラジル、アルゼンチン

本文を引用される場合は、出典が「カンター・ジャパン」であることを明記してください。

■ カンター・ジャパン会社概要

カンター・ジャパンは、前身企業から数えると日本で 50 年超の歴史を持つ市場調査会社です。13 の企業(グループ)で構成されるカンター・グループに属し、日本だけでなく海外の消費者調査まで幅広く手掛けています。親会社は、世界有数の広告会社であるイギリスの WPP(ダブリュー・ピー・ピー)です。

- 社名:株式会社カンター・ジャパン
- 本社:東京都渋谷区代々木 2-1-1 新宿マインズタワー6F、7F
- 取締役社長:大竹秀彦
- 事業内容:市場調査、およびそれに付随するアドバイザー業務
- ウェブサイト:<http://www.kantar.jp>

本件に関するお問い合わせ先

株式会社カンター・ジャパン 広報 東園 E-mail:Marketing@kantar.co.jp Tel:03-6859-3229